

## II 中間育成

### 1 方法

中間育成場を図2, 3に示した。今年度は、前年度同場所と国頭村辺土名漁港内の2ヶ所で中間育成を行った。

取り揚げ、輸送方法は、たも網でのすくい取りを1度で終わらせるため、従来の方法を変更し、飼育水槽から取り揚げ後ビニール袋に収容して中間育成場まで運搬した。

使用した生簀網は前年度同様である。今年度は鳥による食害を防止するため生簀上面は全て防鳥網で覆った。餌料は主として配合飼料で総合ビタミンを添加した。収容直後数日間はオキアミ、魚卵を少量投与した。

### 2 結果及び考察

中間育成結果を表2に示した。1-4区は前年度と同場所で5, 6区は辺土名漁港内である。飼育期間中の水温は21.0-31.5℃であった。

99-114日間飼育後の右腹鰭抜去時には28,712尾生残しており、中間育成中の生残率は43.5%であった。

輸送方法の改良、鳥による食害防止等をおこなった結果、生残率は前年度に比べ約10%向上した。しかし依然50%に達せず更に改良が必要である。

また、異形魚の出現率は32.3% (3.2-53.3) で前年度に比べ高くなった。

表2 昭和63年度ハマフエフキ中間育成結果

項目 \ 区分		1	2	3	4	5	6	合計
中 間 育 成	月/日	7/11	7/11	7/26	7/26	8/8	8/8	
	尾数 (尾)	2,800	4,250	18,250	20,750	10,000	10,000	66,050
	全長 (mm ± SDmm)	34.8 ± 5.7	24.6 ± 4.6	20.2 ± 2.5	20.8 ± 2.8	23.6 ± 3.3	23.6 ± 3.3	20.2 ± 34.6
取 り 揚 げ	月/日	11/2		11/1	11/1	11/21	11/21	
	飼育日数 (日)	114		99	99	106	106	
	尾数 (尾)	5,014		7,912	6,787	4,778	4,221	28,712
	生残率 (%)	71.1		43.4	32.7	47.8	42.1	43.5
	尾叉長 (mm ± SDmm)	100.7 ± 7.5		85.9 ± 9.1	85.1 ± 9.7	79.0 ± 10.0	82.0 ± 10	